

第61回日本アルコール・アディクション医学会学術総会

10月9日(金) 第2会場 [1F 中ホールA]

17:20-18:20 会長講演 1 会長講演 1

座長：長谷川 直実 (大通公園メンタルクリニック)

会長講演1 受け継がれる依存症治療～変わっていくこと、変わらずにいたいこと～
白坂 知彦
ことに白坂メンタルクリニック

10月10日(土) 第1会場 [1F 特別会議場]

15:30-16:30 特別講演 1 特別講演 1

座長：樋口 進 (独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター)
白坂 知彦 (ことに白坂メンタルクリニック)

特別講演1 Alcohol Research in the U.S.A: A Brief Review and Current Status; Results from a
NIH Funded Family Study
(米国におけるアルコール研究：概説と現状、ならびにNIH助成による家族研究の成果)
Victor M. Hesselbrock
Michie N. Hesselbrock
University of Connecticut School of Medicine (コネチカット大学医学部)

10月9日(金) 第2会場 [1F 中ホールA]

15:00-16:00 教育講演 1 教育講演 1

座長：橋本 恵理 (札幌医科大学医学部 神経精神医学講座)

教育講演1 嗜癖に対する認知行動療法—「やめる」から「何をするか」へ
原井 宏明
原井クリニック

10月10日(土) 第3会場 [1F 中ホールB]**08:50-09:20 教育講演 2 教育講演 2**

座長：神田 秀幸 (岡山大学学術研究院医歯薬学域公衆衛生学)

木村 充 (国立病院機構 久里浜医療センター)

**教育講演2-1 アルコール依存症の薬物療法の現在と展望
ー治療効果の評価からGLP-1受容体作動薬までー**

木村 充

国立病院機構 久里浜医療センター

教育講演2-2 日本アルコール・アディクション医学会のこれまでー2024-2026年の振り返りー

神田 秀幸

岡山大学学術研究院医歯薬学域公衆衛生学

10月11日(日) 第2会場 [1F 中ホールA]**09:00-09:30 柳田知司賞 受賞講演 受賞講演1**

座長：中村 幸志 (琉球大学大学院医学研究科公衆衛生学・疫学講座)

受賞講演1 依存性薬物および嗜癖様行動に対する欲求制御の神経メカニズム

金田 勝幸

金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室

09:40-10:10 齋藤利和賞 (学術奨励賞) 受賞講演 受賞講演2

座長：中村 幸志 (琉球大学大学院医学研究科公衆衛生学・疫学講座)

**受賞講演2 生活習慣に組み込まれたアディクションの実態把握から社会環境改善の実装へ
ーたばこ・お酒を中心にー**

桑原 祐樹

鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野

10月9日金 第4会場 [2F 小ホール]

13:20-14:50 シンポジウム3 S3

行動嗜癖の『ほどほど』を考える

オーガナイザー：廣中 直行 (東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト)

座長：廣中 直行 (東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト)

横光 健吾 (人間環境大学総合心理学部)

指定討論者：鶴身 孝介 (京都大学大学院医学研究科附属ヘルスセキュリティセンター安全・安心科学講座)

S3-01

施設の子どもたちはいかにしてゲームにハマるか？ —TICとハームリダクションの視点から—

高野 喜一

社会福祉法人 東京都社会福祉事業団 東京都小山児童学園

S3-02

行動追跡データに対する計算論的アプローチの可能性—バカラ賭博を事例として—

田岡 大樹

京都大学

S3-03

行動嗜癖における「ほどほど」とは何か：ハームリダクションの観点から

横光 健吾

人間環境大学総合心理学部

10月9日金 第7会場 [1F 102 会議室]

13:20-14:50 シンポジウム5 S5

多様なアディクションへの心理学的支援と研究の最前線

オーガナイザー：原田 隆之 (筑波大学)

座長：原田 隆之 (筑波大学)

S5-01

日本におけるゲーム障害およびインターネット依存：現状と治療アプローチの進展

三原 聡子

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

S5-02

自助グループをアップデートするアクションリサーチ

三好 真人

常葉大学 教育学部

S5-03

ストーキングとアディクション —再犯防止支援の現状と課題—

鈴木 拓朗

富山大学

S5-04

子どものインターネット依存に対する心理支援：家族の役割に着目した予防介入の開発

森山 沙耶

筑波大学 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 カウンセリング科学 学位プログラム、
横浜市立大学 研究・産学連携推進センター、株式会社KENZAN**10月9日 金 第3会場 [1F 中ホールB]****16:40-18:10 シンポジウム9 S9****架け橋モデル10年～専門医療機関と一般医療との連携実践～**

オーガナイザー：小松 知己 (沖縄協同病院)

座長：小松 知己 (沖縄協同病院)

S9-01

専門医療機関から総合病院へ出向く～沖縄における「架け橋モデル」の実践～

手塚 幸雄

沖縄リハビリテーションセンター病院

S9-02

**山形県における「架け橋モデル」の実践
～地域医療連携推進法人を基盤とした双方向の連携～**

小林 和人

医療法人山容会 山容病院

S9-03

滋賀県における依存症診療と医療連携の取り組み

濱川 浩

滋賀県立精神医療センター

S9-04

京都府における「架け橋モデル」の実践～総合病院内科医師の立場から

神渡 翔子

公益社団法人 京都保健会 京都民医連中央病院

10月9日 金 第5会場 [2F 204 会議室]**16:40-18:10 シンポジウム10 S10****大学生のアディクション支援に求められるパラダイムシフトとは**

オーガナイザー：喜多村 真紀 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

新井 清美 (信州大学 学術研究院保健学系)

座長：喜多村 真紀 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

新井 清美 (信州大学 学術研究院保健学系)

S10-01

大学生における医薬品の不適正使用に関連する問題に対する調査報告

喜多村 真紀

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

S10-02 大学生の薬物使用の現状と支援体制

新井 清美

信州大学 学術研究院保健学系

S10-03 大学病院精神科からみた大学生の嗜癖問題と支援上の課題

鶴身 孝介

京都大学大学院医学研究科附属ヘルスセキュリティセンター 安全・安心科学講座

S10-04 学生相談室からみた規制薬物問題

光川 利恵

専修大学学生相談室

10月10日(土) 第2会場 [1F 中ホールA]

08:50-10:20 シンポジウム11 S11

若年層に広がるゲーム依存の実態と背景要因

オーガナイザー：館農 勝(さっぽろ悠心の郷 ときわ病院)

松崎 尊信(国立病院機構久里浜医療センター)

座長：治徳 大介(東京科学大学 サイバー精神医学講座)

井上 建(獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター)

S11-01 臨床群と非臨床群のゲーム行動症スクリーニング陽性率の相違についての検討

館農 勝

さっぽろ悠心の郷 ときわ病院

S11-02 全国調査からみた若年層のゲーム依存の実態と背景要因

松崎 尊信

国立病院機構久里浜医療センター

S11-03 小中学生におけるproblematic gamingの実態と関連因子 — D-SCREEN調査より

井上 建

獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター

S11-04 児童・青年期におけるインターネット利用と家庭内の利用制限との関連

治徳 大介

東京科学大学 サイバー精神医学講座

10月10日(土) 第7会場 [1F 102 会議室]**08:50-10:20 ワークショップ1 WS1****アディクション支援のための「動機づけ面接入門」**

オーガナイザー：原田 隆之 (筑波大学)

座長：小松 知己 (沖縄協同病院)

原田 隆之 (筑波大学)

常田 深雪 (ことに白坂メンタルクリニック)

北田 雅子 (札幌学院大学)

小松 知己 (沖縄協同病院)

10月10日(土) 第6会場 [1F 104+105 会議室]**10:30-12:00 シンポジウム16 S16****アルコール等薬物濫用の治療・予防への挑戦
ーヒトゲノム・エピゲノム・脳内解析からわかったこと**

オーガナイザー：松本 博志 (大阪大学大学院医学系研究科 法医学教室、
大阪大学大学院医学系研究科次のいのちを守る人材育成教育研究センター)

座長：松本 博志 (大阪大学大学院医学系研究科 法医学教室、
大阪大学大学院医学系研究科次のいのちを守る人材育成教育研究センター)

S16-01 集団・個体・一細胞解像度の遺伝統計学と日本人集団の疾患病態解明

岡田 随象

東京大学大学院医学研究科、理化学研究所生命医科学研究センター

**S16-02 精神疾患リスクバリエントに基づくモデル系を活用した創薬シーズ開発：
当事者・家族の想いを踏まえて**

尾崎 紀夫

名古屋大学大学院医学研究科 精神疾患病態解明学

S16-03 自殺の脳内挙動：オミックス解析から見たこと

松本 博志

大阪大学大学院医学系研究科 法医学教室、
大阪大学大学院医学系研究科次のいのちを守る人材育成教育研究センター

10月10日(土) 第7会場 [1F 102 会議室]

10:30-12:00 シンポジウム17 S17

危険ドラッグに関する有害作用評価の現状と課題：動物実験と細胞実験の融合

オーガナイザー：船田 正彦 (湘南医療大学 薬学部、
国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)
森 友久 (星薬科大学・行動可塑性制御研究室)

座長：船田 正彦 (湘南医療大学 薬学部、国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)
森 友久 (星薬科大学・行動可塑性制御研究室)

S17-01 MDMA様摂取感覚を指標としたセロトニン系危険ドラッグの有害作用評価

森 友久
星薬科大学・行動可塑性制御研究室

S17-02 ストレス影響下における依存性薬物の行動薬理学的評価

池上 大悟
湘南医療大学 薬学部

S17-03 ヒトiPS細胞を用いた神経発達毒性評価の新展開

曾川 甲子郎
湘南医療大学

S17-04 危険ドラッグ誘発幻覚作用の測定法開発に関する研究

船田 正彦
湘南医療大学 薬学部、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部

10月10日(土) 第4会場 [2F 小ホール]

14:30-16:00 シンポジウム19 S19

アルコール関連肝疾患の臨床におけるアンメットニーズ

オーガナイザー：今 一義 (順天堂大学医学部消化器内科)
福原 京子 (順天堂大学医学部消化器内科)

座長：池嶋 健一 (順天堂大学医学部消化器内科)
谷合 麻紀子 (東京女子医科大学 消化器内科)

S19-01 MetALDの臨床像と今後の課題

小木曾 智美
東京女子医科大学消化器内科

S19-02 アルコール関連肝疾患の診断—飲酒バイオマーカーと非侵襲的診断法の進歩—

福原 京子
順天堂大学医学部消化器内科

S19-03 アルコール関連肝硬変におけるハームリダクションと再代償化を見据えた治療戦略

佐々木 嶺

山口大学大学院医学系研究科消化器内科学

**S19-04 アルコール関連肝疾患診療におけるアンメットニーズ
ーアルコール性肝硬変とアルコール肝炎から考えるー**

松居 剛志

手稲溪仁会病院 消化器病センター

10月10日(土) 第6会場 [1F 104+105会議室]**14:30-16:00 シンポジウム21 S21****アルコールチーム医療の未来予想図～多職種連携による成功事例からの考察～**

オーガナイザー：菊池 真大 (用賀さくち内科 肝臓・内視鏡クリニック、東海大学医学部附属病院健診センター)

座長：菊池 真大 (用賀さくち内科 肝臓・内視鏡クリニック、東海大学医学部附属病院健診センター)

杉原 正子 (まさこ心のクリニック自由が丘、独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター、
独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター、東京科学大学大学院医師歯学総合研究科)**S21-01 デジタルツールと地域連携を活用した内科クリニックのアルコール診療**

菊池 真大

用賀さくち内科 肝臓・内視鏡クリニック、東海大学医学部附属病院健診センター

S21-02 外来アルコールプログラムが引き出す回復力～連携を背景とした断酒継続の2症例～

杉原 正子

まさこ心のクリニック自由が丘、独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター、
独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター、東京科学大学大学院医師歯学総合研究科**S21-03 アルコールチーム医療の未来予想図：
～内科から精神科へ「架け橋」を渡った人たちの回復から～**

水野 有紀

昭和医科大学烏山病院

**S21-04 総合病院リエゾンチームの「成功事例」とは
ーアルコール医療における多職種連携の未来予想図ー**

佐藤 寧子

淀川キリスト教病院

10月10日^土 第9会場 [2F 202 会議室]

14:30-16:00 シンポジウム23 S23

若手の会 (ECC) 発足記念交流会

オーガナイザー：入来 晃久 (大阪精神医療センター、認定NPO法人 日本若手精神科医の会)

姫宮 彩子 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 法医学分野)

座長：姫宮 彩子 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 法医学分野)

S23-01 若手の会 (ECC) 交流会が目指すもの

姫宮 彩子

岡山大学学術研究院医歯薬学域 法医学分野

S23-02 若手同士の交流で得られたもの ～認定NPO法人日本若手精神科医の会での経験から～

入来 晃久

大阪精神医療センター、認定NPO法人 日本若手精神科医の会

S23-03 持続可能な若手会活動：日本行動分析学会若手会の取り組みから

福田 実奈

京都外国語大学

S23-04 若手の会細則の報告と今後の展望

近藤 協子

筑波大学医学医療系、信州大学医学部保健学科

10月10日^土 第4会場 [2F 小ホール]

16:10-17:40 シンポジウム25 S25

依存性物質の多角的薬理作用

オーガナイザー：新田 淳美 (富山大学学術研究部薬学・和漢系、薬物治療学研究室)

西澤 大輔 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、
公益財団法人東京都医学総合研究所)

座長：新田 淳美 (富山大学学術研究部薬学・和漢系、薬物治療学研究室)

西澤 大輔 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、
公益財団法人東京都医学総合研究所)

S25-01 睡眠薬の記憶・認知障害

重面 雄紀

京都大学医学部附属病院 薬剤部

S25-02 マウス前頭前皮質におけるカンナビノイド1型受容体を介したGABA作動性神経伝達による記憶制御機構の解

徳竹 伯洸

富山大学大学院総合医学薬学研究科 薬物治療学研究室

S25-03 ニコチンによる物体認知記憶増強作用と嗅覚障害に伴う記憶障害に対する有効性
西川 佳佑
金沢大・院薬・薬理

S25-04 アルコール健康障害の遺伝子解析
—東京都における一般人口飲酒問題調査研究結果をもとに—
西澤 大輔
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、
公益財団法人 東京都医学総合研究所

10月10日(土) 第9会場 [2F 202 会議室]

16:10-17:40 シンポジウム29 S29

「依存症」と自閉スペクトラム障害—現状と課題

オーガナイザー：和田 清 (昭和医科大学薬学部)
合川 勇三 (埼玉県立精神医療センター)

座長：和田 清 (昭和医科大学薬学部)
合川 勇三 (埼玉県立精神医療センター)

S29-01 アルコール依存症と自閉スペクトラム症—その人に合った回復のかたちを探して—
角田 三穂子
医療法人錦秀会 阪和いずみ病院

S29-02 薬物依存症と自閉症スペクトラム障害
合川 勇三
埼玉県立精神医療センター

S29-03 行動依存と自閉スペクトラム症
松崎 尊信
国立病院機構 久里浜医療センター

S29-04 自閉症スペクトラム障害を有する依存症患者に対する個別作業療法
保坂 崇博
埼玉県立精神医療センター

10月11日(日) 第3会場 [1F 中ホールB]

08:50-10:20 シンポジウム30 S30

アディクションを物質依存と行動嗜癖が統合した現象として考える： 基礎と臨床からのアプローチ

オーガナイザー：宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座、医療法人社団光生会 平川病院)

座長：宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座、医療法人社団光生会 平川病院)

廣中 直行 (東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト)

指定討論者：廣中 直行 (東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト)

S30-01 行動嗜癖モデルとしてのマウス輪回し行動と脳内ドパミン神経活性化

南 雅文

北海道大学

S30-02 ドパミン関連遺伝子改変マウスを用いたニコチン依存と行動嗜癖の解析

井手 聡一郎

公益財団法人 東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト

S30-03 適正使用と依存・嗜癖との関係—両者は、延長線上に存在するのか、別次元に存在するのか—

宮田 久嗣

東京慈恵会医科大学 精神医学講座、医療法人社団光生会 平川病院

S30-04 喫煙行動が嗜癖化するプロセス：薬理学的・非薬理学的要因からの検討

高田 孝二

帝京大学文学部、東京慈恵会医科大学精神医学講座

10月11日(日) 第4会場 [2F 小ホール]

08:50-10:20 シンポジウム31 S31

女性のアディクション 治療へのつなぎ・継続支援体制をどう作るか —アルコール・ギャンブルを中心に—

オーガナイザー：新田 千枝 (筑波大学、独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター)

座長：新田 千枝 (筑波大学、独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター)

指定討論者：吉岡 幸子 (幸手看護専門学校保健専攻科)

S31-01 岩手県における女性の依存症支援

鈴木 りほ

社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院

S31-02 女性のアアルコール使用障害の特徴・現状・展望—現場からの視点を中心に—

杉原 正子

まさこ心のクリニック自由が丘、独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター、
独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター、東京科学大学大学院 医師歯学総合研究科

S31-03**最新知見から読み解く女性のアルコール使用障害・ギャンブル障害の特徴**

新田 千枝

筑波大学、独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター

10月11日 第6会場 [1F 104+105 会議室]**08:50-10:20 シンポジウム32 S32****高パフォーマンス職域におけるアディクションリスク
ーアスリートとパイロットのメンタルヘルス支援から考える**

オーガナイザー：新井 清美 (信州大学 学術研究院保健学系)

座長：鶴身 孝介 (京都大学大学院医学研究科附属ヘルスセキュリティセンター安全安心科学講座)

森田 展彰 (筑波大学医学医療系)

指定討論者：森田 展彰 (筑波大学医学医療系)

S32-01**アスリート支援からみえるメンタルヘルス**

高木 俊輔

東京科学大学 精神行動医科学分野

S32-02**高パフォーマンス職域におけるアディクションリスクと早期介入阻害要因についての考察**

松永 崇義

日本航空株式会社 運航本部 787運航乗員部

S32-03**高パフォーマンス領域に潜むアディクション**

新井 清美

信州大学 学術研究院保健学系

10月11日 第9会場 [2F 202 会議室]**08:50-10:20 シンポジウム34 S34****アルコール関連臓器障害の発症機序の新展開**

オーガナイザー：福原 京子 (順天堂大学医学部消化器内科)

今 一義 (順天堂大学医学部消化器内科)

座長：白石 光一 (ウェルエイジング日本橋クリニック)

山科 俊平 (順天堂大学医学部消化器内科)

S34-01**アルコール関連臓器障害の発症機序の基礎的知見**

土島 睦

金沢医科大学 消化器内科学

S34-02**MASLD病態における腸肝相関～乳酸菌による高度脂肪肝改善効果～**

澤田 康司

旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野

S34-03 アルコール関連肝疾患における脂肪毒性

今 一義

順天堂大学医学部消化器内科

S34-04 アルコール関連肝障害における細胞外小胞を介した肝筋連関の病態解析

江口 暁子

三重大学大学院医学系研究科 消化器内科学、三重大学医学部附属病院 バイオバンクセンター

10月11日 第4会場 [2F 小ホール]

10:30-12:00 シンポジウム36 S36

アルコール・濫用薬物と社会問題

オーガナイザー：西谷 陽子 (京都大学大学院医学研究科法医学講座)

座長：西谷 陽子 (京都大学大学院医学研究科法医学講座)

森 友久 (星薬科大学・行動可塑性制御研究室)

S36-01 Toll-like receptorのアルコール依存への関与

水尾 圭祐

札幌医科大学法医学講座

S36-02 「飲酒」の先にあるもの—法医学実務からみたアルコール関連問題—

姫宮 彩子

岡山大学学術研究院医歯薬学域 法医学分野

S36-03 飲酒者の頭部外傷について—飲酒交通死亡事例を中心に—

片田 竜一

神戸大学

S36-04 アルコール・濫用薬物の最近の法規制の動向

西谷 陽子

京都大学大学院医学研究科法医学講座

10月11日 第6会場 [1F 104+105 会議室]

10:30-12:00 シンポジウム37 S37

みんなで考えよう若者のオーバードーズ対策—第2章—

オーガナイザー：嶋根 卓也 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部)

座長：嶋根 卓也 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部)

宇佐美 貴士 (うえむらメンタルサポート診療所、国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)

S37-01 市販薬オーバードーズの臨床的特徴と支援のあり方の検討

宇佐美 貴士

うえむらメンタルサポート診療所、国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

S37-02 指定濫用防止医薬品の創設と思春期症例の臨床的特徴

嶋根 卓也

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部

S37-03 日本中毒情報センターの問い合わせ状況からみた市販薬オーバードーズの現状

三瀬 雅史

公益財団法人日本中毒情報センター

S37-04 市販薬のオーバードーズに関する動機理解とユースワーク的支援を考える

喜多村 真紀

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

10月11日(日) 第9会場 [2F 202 会議室]**10:30-12:00 シンポジウム39 S39****アルコール問題を抱えた人に医療を届けるには—在宅・地域医療の視点から考える—**

オーガナイザー：朝倉 崇文(板橋ファミリークリニック、北里大学医学部精神科)

座長：小林 桜児(神奈川県立精神医療センター)

S39-01 「断らない」精神科訪問診療—依存症を“いくつもの課題の一つ”として診る

朝倉 崇文

板橋ファミリークリニック、北里大学医学部精神科

S39-02 地域医療の視点で介入するアルコール問題

鈴木 伸

ことぶき共同診療所

S39-03 岩手県A町で糖尿病内科医が実行した治療方針から学ぶこと

森川 すいめい

ゆうりんクリニック

S39-04 酒とともにある人生に医療を繋ぎとめる—緩和ケア・在宅医療の現場からの提言—

廣橋 猛

永寿総合病院、医療法人社団 博腎会 野中医院

10月11日 第2会場 [1F 中ホールA]

13:20-14:50 シンポジウム40 S40

北海道地域の医療機関における、ネット・ゲーム問題使用に関する治療の実際

オーガナイザー：中山 秀紀 (北仁会 旭山病院)

座長：中山 秀紀 (北仁会 旭山病院)

S40-01 インターネット・ゲーム問題使用の治療について

中山 秀紀

北仁会 旭山病院

S40-02 児童精神科外来におけるネット・ゲームに関連した問題への対応

館農 勝

さっぽろ悠心の郷 ときわ病院

**S40-03 ときわ病院における10代を対象とした入院作業療法
～ゲーム・ネット依存症の包括的な取り組み～**

平泉 淳一

特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ病院

S40-04 札幌太田病院におけるネット・ゲーム問題使用の対応について

丹野 万樹

医療法人耕仁会 札幌太田病院

S40-05 旭山病院での治療プログラムの実践

平泉 めぐみ

北仁会 旭山病院 リハビリテーション部

10月11日 第3会場 [1F 中ホールB]

13:20-14:50 シンポジウム41 S41

職場の減酒指導—AMED研究「お酒との上手な付き合い方」と動機づけ面接の活用

オーガナイザー：米沢 宏 (ジャパンEAPシステムズ 産業ダイアログ研究所、医療法人社団翠会 慈友クリニック)

座長：米沢 宏 (ジャパンEAPシステムズ 産業ダイアログ研究所、医療法人社団翠会 慈友クリニック)

S41-01 職場の減酒指導—AMED研究「お酒と上手な付き合い方」と動機づけ面接の活用

米沢 宏

ジャパンEAPシステムズ 産業ダイアログ研究所、医療法人社団翠会 慈友クリニック

S41-02 30秒から始める減酒支援～ Ultra-BIの開発と実践

手塚 幸雄

沖縄リハビリテーションセンター病院

S41-03 上手なお酒との付き合い方を対話で支援～ MIによるアプローチの実際～

北田 雅子

札幌学院大学

10月11日(日) 第7会場 [1F 102 会議室]**13:20-14:50 シンポジウム43 S43****嗜癮性を読み解く**

オーガナイザー：新田 淳美 (富山大学学術研究部薬学・和漢系、薬物治療学研究室)

座長：新田 淳美 (富山大学学術研究部薬学・和漢系、薬物治療学研究室)

井手 聡一郎 (公益財団法人 東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト)

S43-01 数字で学ぶ依存症アルゴリズムによるSNS、生成AIの脅威

山田 正明

富山大学学術研究部医学系、疫学健康政策学講座

S43-02 ギャンブル症における併存精神疾患の臨床的意義**S43-03 マウスを用いたニコチン摂取行動に対する嗜癮性を制御する神経回路の同定**

矢野 結友

富山大学 薬学・和漢系・薬物治療学研究室

S43-04 嗜癮性を有する乱用薬の薬物動態学的特性

北市 清幸

岐阜薬科大学 薬物動態学研究室

10月11日(日) 第9会場 [2F 202 会議室]**13:20-14:50 シンポジウム45 S45****企業は依存症関連問題にどう取り組むかー通信事業者・航空会社の支援体制と臨床的視点ー**

オーガナイザー：治徳 大介 (東京科学大学 サイバー精神医学講座)

座長：治徳 大介 (東京科学大学 サイバー精神医学講座)

松崎 尊信 (国立病院機構 久里浜医療センター)

指定討論者：松崎 尊信 (国立病院機構 久里浜医療センター)

S45-01 スマートフォンとの健全な関係づくりを支援する：「スマホ習慣セルフチェック」の開発と社会的意義

尾崎 理沙

KDDI総合研究所

S45-02 日本のエアラインにおけるアルコール対策（日本版HIMS）の取り組み

松本 英晃

全日本空輸株式会社

S45-03 臨床からみた依存症予防・早期介入・支援 一家族支援システムを一例に一

小林 七彩

東京科学大学サイバー精神医学講座

10月11日 第3会場 [1F 中ホールB]**15:00-16:30 シンポジウム47 S47****体験を共有する～アルコール依存症実践塾での語りの価値～**

オーガナイザー：齋藤 利和 (北海道公立大学法人札幌医科大学)
阿部 かおり (独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター)

座長：齋藤 利和 (北海道公立大学法人札幌医科大学)
阿部 かおり (独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター)

指定討論者：入来 晃久 (大阪精神医療センター、認定NPO法人 日本若手精神科医の会)

S47-01 支援者が安心して支えられる場から学んだ事～職種、階層、距離を超えた繋がりを通じて
神山 奈穂
東京都立松沢病院

S47-02 アルコール依存症実践塾での学びと安心感・やる気の獲得
木下 淳
社会医療法人 博友会 平岸病院

S47-03 困っていると言える場所があるということ
射場 亜希子
兵庫県立はりま姫路総合医療センター

10月11日 第6会場 [1F 104+105 会議室]**15:00-16:30 シンポジウム48 S48****乱用薬物の再評価：作用機序の理解と精神疾患治療への可能性**

オーガナイザー：森 友久 (星薬科大学・行動可塑性制御研究室)

座長：新井 清美 (信州大学 学術研究院保健学系)
小林 桜児 (神奈川県立精神医療センター)

指定討論者：入来 晃久 (大阪精神医療センター、認定NPO法人 日本若手精神科医の会)

S48-01 動物実験のデータをどこまで信じるのか？
廣中 直行
東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト

S48-02 精神刺激薬の薬理作用と依存形成ならびにストレスによる薬物報酬の増強
金田 勝幸
金沢大学 医療保健研究域薬学系 薬理学研究室

S48-03 ケタミンとMDMAの弁別刺激効果の解析から精神疾患治療への応用を考察する
森 友久
星薬科大学・行動可塑性制御研究室

S48-04 ベンゾジアゼピン系抗不安薬使用の分岐点
鶴身 孝介
京都大学大学院 医学研究科附属ヘルスセキュリティセンター 安全・安心科学講座

10月11日 第9会場 [2F 202 会議室]**15:00-16:30 シンポジウム51 S51****肝移植を通じて日本のアルコール連携医療を考える**

オーガナイザー：金井 貴夫 (中部徳洲会病院)

小松 知己 (沖縄協同病院)

座長：小松 知己 (沖縄協同病院)

金井 貴夫 (中部徳洲会病院)

指定討論者：入来 晃久 (大阪精神医療センター、認定NPO法人 日本若手精神科医の会)

S51-01**アルコール性肝障害に対する肝移植後の心理社会的支援**

熊倉 陽介

東京大学病院

S51-02**アルコール性肝硬変に対する肝移植評価と支援：
熊本大学病院精神科リエゾンチームによる実践とその課題**

今井 智之

医療法人徳州会 湘南鎌倉総合病院

S51-03**岡山大学病院と地域におけるアルコール性肝障害に対する肝移植**

松本 洋輔

岡山大学保健管理センター

10月11日 第5会場 [2F 204 会議室]**09:00-12:00 心理ワークショップ1 PW1****「eスポーツの発展と医療との協働の可能性」～なぜ選手は依存症にならないのか**

オーガナイザー：常田 深雪 (ことに白坂メンタルクリニック)

白坂 知彦 (ことに白坂メンタルクリニック)

座長：常田 深雪 (ことに白坂メンタルクリニック)

河田 祐輔 (千歳病院)

PW1-01**高校eスポーツ部員の現実と心身の健康**

神田 秀幸

岡山大学学術研究院医歯薬学域公衆衛生学

PW1-02**ネットの問題相談外来 当事者・家族に対する関わりのコツ**

白坂 知彦

ことに白坂メンタルクリニック

PW1-03**学びの場から見たeスポーツのもたらす新しい可能性**

坪山 義明

札幌国際大学

PW1-04**eスポーツの発展と医療との協働の可能性**

本間 欽也

北海道新聞社編集局読者センター

10月9日金 第7会場 [1F 102 会議室]

15:00-15:50 口演 OA1

一般演題A1

座長：池谷 博 (京都府立医科大学大学院 医学研究科)

OA1-01 飲酒と健康寿命に関するシステマティックレビュー

竹内 健太、岡村 智教、平田 あや

慶應義塾大学

OA1-02 依存症リスクと心理社会的特性による潜在クラス分析：全国オンラインパネル調査

糸島 尚^{1,3)}、本田 雄大^{2,3)}、猪口 和美³⁾、齋藤 暢紀³⁾、鶴身 孝介¹⁾、今中 雄一^{2,3)}

¹⁾ 京都大学大学院医学研究科附属ヘルスセキュリティセンター安全安心科学講座

²⁾ 京都大学大学院医学研究科ヘルスセキュリティセンター健康危機管理システム学分野

³⁾ 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野

OA1-03 大手金融系企業で働く女性のハイリスク飲酒に関連する要因：
就労状況、生活習慣と飲酒動機に着目した解析

近藤 協子¹⁾、新田 千枝^{1,2)}、伊東 明雅³⁾、飯田 美穂³⁾、松下 幸生^{2,4)}

¹⁾ 筑波大学医学医療系 ²⁾ 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

³⁾ 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 ⁴⁾ 医療法人財団青山会福井記念病院

OA1-04 東京都立松沢病院アルコール内科外来におけるアルコール依存症患者の受診継続率に関する
記述的研究

長尾 知子、神山 奈穂、源田 圭子

東京都立松沢病院内科

OA1-05 アルコール問題をもつ人に対する専門病院受診・自助グループ参加促進に有効な声かけの検討

海野 順¹⁾、田辺 暢也²⁾

¹⁾ 医療法人社団光風会 三光病院 ²⁾ 一般社団法人ひとひら

10月9日金 第9会場 [2F 202 会議室]**14:50-15:50 口演 OA2****一般演題A2**

座長：森 友久 (星薬科大学・行動可塑性制御研究室)

OA2-01 依存症患者の身体感覚への気づきとアレキシサイミア下原 悠一¹⁾、加賀谷 有行²⁾、下原 千夏³⁾、Wiktor Chciuk⁴⁾、町澤 まろ⁴⁾、山脇 成人⁵⁾¹⁾ 瀬野川病院 ²⁾ KONUMA記念依存ところの研究所 ³⁾ 医療法人せのがわ ⁴⁾ ザイバーリンク⁵⁾ 広島大学 国際アフェクトーム (感情) 研究センター**OA2-02 精神科外来初診患者の小児期逆境体験、ストレス対処力、物質乱用及び行動嗜癖が自殺関連行動に及ぼす影響**

板橋 登子、青山 久美、平野 祥子、西村 康平、吉田 浩司、小林 桜児

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター

OA2-03 クリニックで実施したギャンブル障害治療プログラム倉田 勉¹⁾、渡邊 堅太¹⁾、堀内 麻代¹⁾、高橋 友恵¹⁾、平田 歩¹⁾、杉田 裕貴¹⁾、小川 義弘^{1,2)}、倉田 恵美¹⁾¹⁾ ふさのくにメンタルクリニック ²⁾ 千葉大学大学院看護学研究科**OA2-04 新たに開発した市販薬・処方薬使用障害に対する入院治療プログラム (市販薬・処方薬 FARPP) の効果検証**石井 香織^{1,3,4)}、沖田 恭治^{2,3)}、齊藤 友美²⁾、松本 俊彦³⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター病院 薬剤部 ²⁾ 国立精神・神経医療研究センター病院 精神診療部³⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部⁴⁾ 東京理科大学大学院薬学研究科 疾患薬理学研究室**OA2-05 繁華街の若者支援における支援者ニーズ：
支援者研修コンテンツ開発研究に係るインタビュー調査より**

喜多村 真紀、嶋根 卓也、松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

OA2-06 薬物乱用に関する知識の有無が断る自己効力感に与える影響：全国高校生調査2024喜多村 真紀^{1,2,3,4,5,6,7)}、水野 聡美¹⁾、猪浦 智史²⁾、大淵 拓真¹⁾、北垣 邦彦³⁾、小出 明宏⁴⁾、
富永 孝治^{5,6)}、竹原 健二⁷⁾、松本 俊彦¹⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 ²⁾ 新潟青陵大学看護学部³⁾ 東京薬科大学薬学部社会薬学研究室 ⁴⁾ 横浜薬科大学薬学部レギュラトリーサイエンス研究室⁵⁾ 日本薬剤師会 ⁶⁾ 日本学校保健会 ⁷⁾ 国立成育研究センター研究所政策科学研究部

10月9日 金 第7会場 [1F 102 会議室]

16:10-16:50 口演 OA3

一般演題A3

座長：上村 公一 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)

OA3-01 高校生におけるインターネット活動別利用時間と飲酒・喫煙・違法薬物使用との関連：2018-2024年

水野 聡美、猪浦 智史、喜多村 真紀、松本 俊彦、嶋根 卓也

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

OA3-02 福岡市内の繁華街に集う若者の過量服薬経験者の特徴—夜間支援現場からの報告—

宇佐美 沙希^{1,2)}、前田 春菜¹⁾、中嶋 亮太³⁾、大西 良¹⁾

¹⁾一般社団法人ソーシャルワークオフィス福岡 ²⁾うえむらメンタルサポート診療所 ³⁾自立援助ホーム スイッチ

OA3-03 保護観察対象薬物事犯者における大麻群と覚醒剤群の比較—治療プログラム参加との関連—

宇佐美 貴士^{1,2)}、羽布津 碧^{2,3)}、金澤 由佳^{2,4)}、堤 史織^{2,5)}、熊倉 陽介^{2,6)}、高野 歩²⁾、松本 俊彦²⁾

¹⁾うえむらメンタルサポート診療所 ²⁾国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

³⁾筑波大学医学医療系 ⁴⁾慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 ⁵⁾東京科学大学 環境・社会理工学院

⁶⁾東京大学医学部附属病院精神神経科

OA3-04 ギャンブル種類数と複合リスクの併存：ギャンブル・アルコール使用・ゲーム行動・問題的インターネット使用

本田 雄大^{1,2)}、糸島 尚^{2,3)}、齋藤 暢紀²⁾、猪口 和美²⁾、鶴身 孝介³⁾、今中 雄一^{1,2)}

¹⁾京都大学 大学院医学研究科附属 ヘルスセキュリティセンター 健康危機管理システム学分野

²⁾京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

³⁾京都大学大学院医学研究科附属 ヘルスセキュリティセンター 安全安心科学講座

10月10日(土) 第8会場 [2F 201 会議室]

08:50-09:50 口演 OA4

一般演題A4

座長：和田 清 (昭和医科大学薬学部)

OA4-01

飲み会疑似環境でのリスク低減アドバイスとコミットメント宣言の効果：
クラスターランダム化試験吉本 尚^{1,2)}、羽田野 貴裕^{1,3)}、島田 憲佑^{4,5,6)}、五所 正彦⁷⁾、福田 隆文⁸⁾、駒野 悠太⁸⁾、梅田 健太郎⁸⁾、
岩瀬 将盛⁸⁾、草野 結子⁹⁾、川畑 尊代⁹⁾¹⁾ 筑波大学健康ライフスタイル開発研究センター ²⁾ 筑波大学医学医療系 地域総合診療医学³⁾ 筑波大学医学医療系 ⁴⁾ 筑波大学医学医療系 臨床研究地域イノベーション学⁵⁾ 筑波大学 つくば臨床医学研究開発機構 (T-CReDO) ⁶⁾ 筑波大学附属病院データサイエンス室⁷⁾ 筑波大学 医学医療系 生物統計学 ⁸⁾ キリンホールディングス株式会社 キリン中央研究所⁹⁾ キリンビール株式会社 経営企画部

OA4-02

断酒継続に必要な臨床医学的要因について—1年断酒者と再飲酒者の比較—

奥田 正英、水島 久美子、森下 夏帆、石本 史恵、小林 央、金 徳洙、水谷 浩明
八事病院

OA4-03

依存症専門外来における飲酒量軽減治療は治療継続に寄与するのか
—混合研究法を用いた後方視的調査—出水 玲奈¹⁾、朝倉 崇文^{1,2)}、片山 宗紀¹⁾、村岡 寛之¹⁾、廣岡 孝陽¹⁾、稲田 健¹⁾、草野 央³⁾、日高 央³⁾、
魚嶋 晴紀⁴⁾、岩崎 秀一郎³⁾¹⁾ 北里大学医学部精神科学 ²⁾ 医療法人社団心翠会 板橋ファミリークリニック ³⁾ 北里大学医学部消化器内科学⁴⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部 生体機能病態学分野 消化器内科学講座

OA4-04

アルコール依存症家族の作業機能障害と抑うつ、自尊感情との関連構造
—パス分析による検討—鈴木 由利¹⁾、堀尾 美千子¹⁾、渡邊 希¹⁾、岩佐 貴史¹⁾、分部 和代¹⁾、小砂 哲太郎²⁾、大倉 映子³⁾、
常岡 俊昭⁴⁾、鈴木 信芳⁵⁾、大谷 和美⁶⁾、川上 史子⁷⁾、宮崎 學⁸⁾、田辺 暢也⁹⁾、岩田 美幸¹⁰⁾¹⁾ 三重県立こころの医療センター ²⁾ 国立精神・神経医療研究センター病院 ³⁾ 林道倫精神科神経科病院⁴⁾ 昭和医科大学 烏山病院 ⁵⁾ 久里浜医療センター ⁶⁾ 泊ファミリークリニック ⁷⁾ 船橋北病院 ⁸⁾ 三重断酒新生会⁹⁾ 一般社団法人ひとひら ¹⁰⁾ 吉備国際大学

OA4-05

アルコール使用障害者における自助グループ参加頻度とその後の断酒との関連：
全国ダルク追っかけ調査より猪浦 智史^{1,2)}、嶋根 卓也²⁾、水野 聡美²⁾、松本 俊彦²⁾¹⁾ 新潟青陵大学看護学部 ²⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

OA4-06

「ベター・ザン・ウェル」を目指す依存症支援——回復資本評価の可能性

橋本 望¹⁾、廣田 智也^{1,2)}、宋 龍平¹⁾¹⁾ 岡山県精神科医療センター ²⁾ 岡山大学 子どもの発達とメンタルヘルス講座

10月10日(土) 第8会場 [2F 201 会議室]

10:00-11:00 口演 OA5

一般演題A5

座長：河田 祐輔 (医療法人資生会 千歳病院)

OA5-01 薬物事犯者における一部執行猶予制度の適用対象の特性と地域回復資源への接続

堤 史織^{1,2)}、宇佐美 貴士^{1,3)}、杉山 大典^{4,5,6)}、高野 歩¹⁾、熊倉 陽介^{1,7)}、金澤 由佳^{1,8)}、羽布津 碧^{1,9)}、松本 俊彦¹⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 ²⁾ 東京科学大学 環境・社会理工学院³⁾ うえむらメンタルサポート診療所 ⁴⁾ 慶應義塾大学 看護医療学部⁵⁾ 慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 ⁶⁾ 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科⁷⁾ 東京大学医学部附属病院精神神経科 ⁸⁾ 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 ⁹⁾ 筑波大学医学医療系

OA5-02 わが国におけるコカイン経験者数の推計：薬物使用に関する全国住民調査2025より

嶋根 卓也、水野 聡美、猪浦 智史、松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

OA5-03 米国drug courtにおける統合的支援と多職種連携の特徴
ーナラティブレビューによる検討ー井ノ口 恵子¹⁾、渡邊 敦子²⁾¹⁾ 医療法人社団アパリ アパリクリニック ²⁾ 武蔵野大学

OA5-04 市販薬乱用問題を有する生徒への支援の現状について：学校関係者インタビュー調査より

引土 絵未¹⁾、近藤 あゆみ²⁾、嶋根 卓也²⁾¹⁾ 日本女子大学 ²⁾ 国立精神・神経医療研究センター

OA5-05 物質使用メリットとその背景的なイデオロギーによるスティグマの探索的分析

鈴木 祐人¹⁾、片山 宗紀²⁾、堤 史織³⁾、風間 暁⁴⁾、正高 佑志⁵⁾、嶋根 卓也⁶⁾、稲田 健²⁾、松本 俊彦⁶⁾¹⁾ 一般社団法人東京TSネット ²⁾ 北里大学医学部精神科学 ³⁾ 東京科学大学環境・社会理工学院⁴⁾ 特定非営活動法人ASK ⁵⁾ 一般社団法人Green Zone Japan⁶⁾ 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

OA5-06 大学生の薬物使用の現状と支援体制に関する研究

新井 清美¹⁾、近藤 協子^{1,2)}、鶴身 孝介³⁾、喜多村 真紀⁴⁾¹⁾ 信州大学 学術研究院保健学系 ²⁾ 筑波大学 医学医療系 ³⁾ 京都大学大学院 医学研究科⁴⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

10月10日(土) 第8会場 [2F 201 会議室]**11:10-11:50 口演 OA6****一般演題A6**

座長：菅谷 渚 (労働安全衛生総合研究所)

OA6-01**親のギャンブルによる子どもへの影響と支援ニーズ**工藤 夏紀¹⁾、森田 展彰²⁾¹⁾ 筑波大学大学院 人間総合科学学術院 ヒューマン・ケア科学学位プログラム (社会精神保健学分野)²⁾ 筑波大学 医学医療系**OA6-02****全国高校生調査におけるエナジードリンクおよびカフェイン製剤摂取の生活習慣関連要因の検討**大淵 拓真^{1,2)}、水野 聡美¹⁾、猪浦 智史¹⁾、喜多村 真紀¹⁾、松本 俊彦¹⁾、嶋根 卓也¹⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部²⁾ Herefordshire and Worcestershire Health and Care NHS Trust**OA6-03****低リスクギャンブルガイドラインに関するスコーピングレビュー**高野 歩¹⁾、羽布津 碧¹⁾、飯田 真子¹⁾、安間 尚徳²⁾、大野 昂紀³⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター ²⁾ 上尾の森診療所 ³⁾ 慶應大学**OA6-04****児童養護施設における依存症のある養育者をもつ子どもの実態と支援ツールの活用可能性に関する調査**

森田 展彰

筑波大学医学医療系

10月10日(土) ポスター・展示会場 [1F 107+108会議室]**13:20-14:20 ポスター発表 PA1-1****ポスター A1-1**

座長：高見 太郎 (山口大学大学院 医学系研究科 消化器内科学)

PA1-1-01**橋中心髄鞘崩壊症の典型的剖検像を呈したアルコール使用障害患者の一部検例**三浦 颯人¹⁾、川合 千裕¹⁾、宮尾 昌¹⁾、古川 翔太¹⁾、立野 真依子¹⁾、パリサ アヤトラヒ¹⁾、
中島 諭²⁾、中本 裕士²⁾、玉木 敬二¹⁾、西谷 陽子¹⁾¹⁾ 京都大学大学院医学研究科 法医学講座 ²⁾ 京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座**PA1-1-02****ラット末梢血管における収縮反応に及ぼす慢性エタノールの影響**

工藤 利彩、勇井 克也

奈良県立医科大学法医学

PA1-1-03**慢性エタノール摂取はラット上腸間膜動脈における誘導型内皮依存性過分極因子を介した弛緩を増大した**

勇井 克也、工藤 利彩

奈良県立医科大学法医学教室

PA1-1-04**2025年JYPADにおける若者の薬物使用経験率と標本誤差**三好 美浩¹⁾、勝野 眞吾²⁾、西岡 伸紀³⁾¹⁾ 岐阜大学医学部看護学科 ²⁾ 岐阜薬科大学薬学部 ³⁾ 京都女子大学心理共生学部**PA1-1-05****アセトアルデヒドを介した血小板凝集への飲酒の影響**

江川 可純、丸茂 幹雄、若林 一郎

兵庫医科大学医学部社会医学予防医学

PA1-1-06**職場でのAUDIT-Cによる飲酒問題スクリーニングの妥当性**松田 東峰¹⁾、守田 祐作⁴⁾、田中 完⁵⁾、松口 和憲^{1,3)}、角南 隆史⁶⁾、武藤 岳夫⁷⁾、長 祥子²⁾、杠 岳文^{1,2)}¹⁾ 国立病院機構 肥前精神医療センター ²⁾ 特定医療法人社団 宗人会 筑後吉井ころろホスピタル³⁾ 福岡大学医学部 精神医学教室 ⁴⁾ 日本製鉄 (株) 東日本製鉄所 鹿島地区 ⁵⁾ KOMET産業医センター⁶⁾ 佐賀県医療センター好生館 ⁷⁾ 医療法人横田会 向陽台病院**13:20-14:20 ポスター発表 PA1-2****ポスター A1-2**

座長：中村 幸志 (琉球大学大学院 医学研究科 公衆衛生学・疫学講座)

PA1-2-01**アルコール依存症患者の振戦における離脱症状との鑑別を要した一例**

徳岡 優生

光の丘病院

PA1-2-02**大学病院勤務の医師を対象に行った飲酒習慣の調査結果について**

戸井田 真木¹⁾、須田 顕¹⁾、宮内 雅利²⁾、野口 信彦¹⁾、佐野 洋介¹⁾、若杉 慶嗣³⁾、鈴木 妙実⁴⁾、浅見 剛²⁾

¹⁾ 横浜市立大学市民総合医療センター ²⁾ 横浜市立大学附属病院

³⁾ 神奈川工科大学 健康医療科学部 看護学科 ⁴⁾ 横浜市総合保健医療センター

PA1-2-03**愛知県精神医療センターにおけるアルコール依存症の急性期入院治療プロトコル構築の試み**

坂田 晴耶、加藤 陽久、佐藤 未音、柳澤 奈々美、原口 留里、山崎 悠矢、足立 朱里、中川 麻由子、武富 賀代、羽瀧 知可子、高木 宏

愛知県精神医療センター

PA1-2-04**集団ARPの1つに取り入れた「笑いヨガ」～実施のポイントと参加者の反応～**

毛利 恵理

社会医療法人 居仁会 総合心療センターひなが

PA1-2-05**消化器内科におけるアルコール使用障害およびアルコール性肝硬変に対する多職種連携・精神科連携の取り組み**

相原 洋祐、塩谷 一樹、畠 健悟、矢野 庄悟、増田 泰之、廣瀬 哲、伊藤 聡子、伯耆 徳之、安 辰一

ベルランド総合病院

PA1-2-06**消化器疾患入院患者におけるアルコール使用障害対応の実態**

伊集院 翔、近藤 陽香、豊留 亜衣、坂江 遥、小田 耕平、熊谷 公太郎、馬渡 誠一、橋元 慎一

鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学

13:20-14:10 ポスター発表 PA1-3**ポスター A1-3**

座長：菊池 真大 (用賀きくち内科 肝臓・内視鏡クリニック、東海大学医学部)

PA1-3-01**ギャンブル問題の影響を受けた配偶者の学齢期の子育て困難と支援ニーズ**

土方 郁美

茨城大学教育学部

PA1-3-02**産学連携による「スマホ習慣セルフチェック」の開発：医学的知見と生活者視点の融合**

尾崎 理沙¹⁾、三宅 佑果¹⁾、小林 直¹⁾、加賀 理恵子²⁾、小林 七彩³⁾、治徳 大介³⁾

¹⁾ KDDI総合研究所 ²⁾ KDDI ³⁾ 東京科学大学 サイバー精神医学講座

PA1-3-03**小中学生におけるゲーム依存傾向の半年間の推移
—学年による変化パターンの差異に着目して—**

永浦 拓¹⁾、藤田 益伸²⁾、谷家 優子^{2,3,4)}、薩摩 篤潤⁵⁾、堤 俊彦²⁾、野田 哲朗^{2,3)}

¹⁾ 北海道教育大学教職大学院 (旭川校) ²⁾ 大阪人間科学大学 ³⁾ 東布施野田クリニック ⁴⁾ 大手前大学

⁵⁾ 一般財団法人江原積善会積善病院

PA1-3-04**公立中学1年生のネット・ゲーム利用状況の推移**

中山 秀紀¹⁾、樋口 進²⁾

¹⁾ 北仁会 旭山病院 ²⁾ 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

PA1-3-05

日本の中高生におけるたばこ製品使用に関連する社会環境要因

桑原 祐樹¹⁾、金城 文¹⁾、金 弘子¹⁾、神田 秀幸²⁾、吉本 尚³⁾、真栄里 仁⁴⁾、樋口 進⁵⁾、尾崎 米厚¹⁾¹⁾ 鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野 ²⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野³⁾ 筑波大学医学医療系地域医療教育学 ⁴⁾ 独立行政法人国立病院機構琉球病院⁵⁾ 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

13:20-14:20 ポスター発表 PA1-4

ポスター A1-4

座長：池田 和隆 (国立精神・神経医療研究センター精神薬理研究部、東京都医学総合研究所依存性物質プロジェクト)

PA1-4-01

SNS依存とSNS使用に伴うストレスのネットワーク分析
—行動依存の構成要素モデルに基づく検討—福井 義一¹⁾、中谷 智美²⁾¹⁾ 甲南大学 ²⁾ 名古屋産業大学

PA1-4-02

マウス側坐核におけるShati/Nat8l発現によるカンナビノイド1型受容体アゴにスト誘発行動の抑制

徳竹 伯洸¹⁾、横瀬 淳¹⁾、矢野 結友¹⁾、村松 慎一²⁾、新田 淳美¹⁾¹⁾ 富山大学大学院総合医学薬学研究科 薬物治療学研究室²⁾ 自治医科大学オープンイノベーションセンター神経遺伝子治療部門

PA1-4-03

海馬Irisin-Integrin-BDNFシグナルはストレスによるコカイン欲求増大を抑制する

森田 侑生¹⁾、平野 優紀²⁾、畔上 日和¹⁾、村田 陽香²⁾、乙田 篤輝²⁾、蔡 心蕾²⁾、西谷 直也^{1,2)}、
出山 諭司^{1,2)}、金田 勝幸^{1,2)}¹⁾ 金沢大薬 ²⁾ 金沢大院医薬保

PA1-4-04

児童生徒におけるデジタルデバイス利用習慣が視力および学業成績に及ぼす影響

堀江 正男、大久保 明子、野口 裕子

新潟県立看護大学

PA1-4-05

発達期カンナビノイドCB₁受容体作動薬反復投与による成長後の行動変化

山口 拓、堤 七海、緒方 啓介、福森 良

長崎国際大学薬学部薬物治療学研究室

PA1-4-06

ニコチン嗜癖行動における扁桃体外側基底核の神経制御機構の解明

矢野 結友¹⁾、篠原 彩¹⁾、普天間 蓮¹⁾、泉尾 直孝¹⁾、藤井 拓磨¹⁾、横瀬 淳¹⁾、西谷 直也²⁾、
金田 勝幸²⁾、新田 淳美¹⁾¹⁾ 富山大学 薬学・和漢系・薬物治療学研究室 ²⁾ 金沢大学 医薬保健研究域・薬学系・薬理学研究室

10月11日(日) ポスター・展示会場 [1F 107+108会議室]**13:20-14:10 ポスター発表 PA2-1****ポスター A2-1**

座長：上村 公一 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)

PA2-1-01**高齢アルコール使用症の治療経過に関連した要因について検討した2症例**

楯林 義直、源田 圭子、布村 明彦

東京都立松沢病院

PA2-1-02**日本語版Alcohol Craving Experience(ACE)尺度作成の試み**高橋 誠¹⁾、小野坂 益成²⁾、森本 哲介³⁾¹⁾ 神奈川大学 ²⁾ 松蔭大学 ³⁾ 兵庫教育大学**PA2-1-03****人生の価値の探求：アルコール依存症の中年期女性の語り**

内野 小百合

常磐大学看護学部看護学科

PA2-1-04**アルコール依存症患者の治療継続要因に関する質的検討—インタビュー調査の結果から—**飯田 陽奈^{1,2)}、石井 秀宗¹⁾、奥村 恵一²⁾、内田 由佳²⁾、西山 仁²⁾¹⁾ 名古屋大学大学院教育発達科学研究科 ²⁾ 西山クリニック**PA2-1-05****日本成人における飲酒問題と小児期逆境体験との関連：インターネットパネル調査**猪口 和美¹⁾、齋藤 暢紀^{1,4)}、本田 雄大^{1,2)}、糸島 尚^{1,3)}、鶴身 孝介³⁾、今中 雄一^{1,2)}¹⁾ 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野²⁾ 京都大学大学院医学研究科ヘルスセキュリティセンター健康危機管理システム学分野³⁾ 京都大学大学院医学研究科附属ヘルスセキュリティセンター安全安心科学講座⁴⁾ 京都市こころの健康増進センター**13:20-13:50 ポスター発表 PA2-2****ポスター A2-2**

座長：石橋 竜太郎 (札幌医科大学医学部神経精神医学講座)

PA2-2-01**つながりを止めない感染対策—回復のための「つながり」は守れたか—**古屋 宏章¹⁾、阿部 光香²⁾、古屋 穂乃佳²⁾、池ヶ谷 訓章³⁾、米澤 夏里¹⁾、松浦 里紗子¹⁾、山田 真理⁴⁾、葛井 真守⁴⁾、関 静香⁵⁾、常岡 俊昭⁴⁾、石井 里沙³⁾、宮本 一磨³⁾、律口 由紀³⁾¹⁾ 昭和医科大学烏山病院 薬局 ²⁾ 昭和医科大学烏山病院 臨床検査室 ³⁾ 昭和医科大学烏山病院 看護部⁴⁾ 昭和医科大学烏山病院 精神医学講座 ⁵⁾ 昭和医科大学病院附属東病院 精神神経科**PA2-2-02****市販薬過量服薬からの回復過程の構造化：****X投稿文を用いた多理論統合モデルに基づく内容分析**喜多村 真紀¹⁾、高田 雅弘²⁾、江藤 不二子³⁾、首藤 誠⁴⁾、嶋根 卓也¹⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 ²⁾ AIDS文化フォーラムin京都³⁾ 有限会社綾部ファーマシー綾部薬局 ⁴⁾ 摂南大学 薬学部

PA2-2-03

複数尺度を用いた青少年のゲーム行動症スクリーニングにおける親子評定と短期的持続性の検討

大野 昂紀¹⁾、徳重 誠²⁾、平谷 七美³⁾、金子 響介⁴⁾、浜村 俊傑⁴⁾、宮本 有紀²⁾、館農 勝^{5,6)}、久我 弘典⁴⁾、伊藤 正哉⁴⁾、高野 歩⁷⁾

¹⁾ 慶應義塾大学医学部 ²⁾ 東京大学大学院医学系研究科 ³⁾ 世田谷保健所

⁴⁾ 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター ⁵⁾ ときわ病院・ときわこども発達センター

⁶⁾ 札幌医科大学医学部 ⁷⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

13:20-14:10 ポスター発表 PA2-3

ポスター A2-3

座長：鵜沼 香奈 (東京科学大学 法医学分野)

PA2-3-01

大麻使用症患者における尿中THC検査の臨床的有用性—当院初診患者28例の検討—

山本 愛久、麻生 克郎

公益財団法人復光会垂水病院

PA2-3-02

ギャンブル障害の症状とCAARSスコアの変化の関係性

関 静香¹⁾、松本 真弥²⁾、葛井 真守²⁾、岩見 有里子²⁾、山田 真理²⁾、葎口 由紀²⁾、宮本 一磨²⁾、木下 隆盛²⁾、石井 里沙²⁾、古屋 宏章²⁾、田崎 なつめ²⁾、松本 利浩³⁾、中村 純子⁴⁾、常岡 俊昭²⁾、真田 建史²⁾

¹⁾ 昭和医科大学病院 ²⁾ 昭和医科大学烏山病院 ³⁾ ギャンブル依存症問題を考える会 ⁴⁾ 駒木野病院 薬剤課

PA2-3-03

ギャンブル関連認知の歪みと渴望の関連についての縦断的検討

稲垣 貴彦¹⁾、桂木 賢太郎¹⁾、濱本 純華¹⁾、石川 柚木¹⁾、岡山 奏美¹⁾、六田 泰央¹⁾、安藝 森央¹⁾、柴田 真美¹⁾、蝦名 昂大^{1,2)}、村井 俊哉¹⁾、鶴身 孝介^{1,3)}

¹⁾ 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 (精神医学)

²⁾ 東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター

³⁾ 京都大学大学院医学研究科附属ヘルスセキュリティセンター

PA2-3-04

女性依存症入院患者を対象としたトラウマインフォームドケアに基づく病棟プログラムの開発の試み

平野 祥子、黒川 由美子、坂間 恵美子、八巻 倫世、板橋 登子、柳下 由紀乃、青山 久美、小林 桜児

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター

PA2-3-05

薬物依存症専門外来受診患者における主使用物質別の心理社会的特徴の比較

沖田 恭治、齊藤 友美、石井 香織、松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター

13:20-13:50 ポスター発表 PA2-4**ポスター A2-4**

座長：菅谷 渚 (労働安全衛生総合研究所)

PA2-4-01**薬物依存症者家族会が参加者にもたらす経験の構造
ー関東地方の宿泊型家族会におけるナラティブ分析ー**

青木 彩香^{1,2,3)}、相良 翔²⁾

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 ²⁾ 埼玉県立大学

³⁾ 医療法人社団 新新会 多摩あおば病院

PA2-4-02**ゲーム行動症患者に対する薬剤師介入の取り組み報告**

吉田 志津恵¹⁾、山根 麻里子¹⁾、白鳥 隼人¹⁾、磯山 賢¹⁾、三原 聡子³⁾、北湯口 孝³⁾、前園 真毅⁴⁾、
尾崎 淳⁴⁾、長谷川 朋子⁴⁾、松崎 尊信²⁾、樋口 進²⁾

¹⁾ 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 薬剤部

²⁾ 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 精神科

³⁾ 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 心理療法士室

⁴⁾ 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 医療福祉相談室

PA2-4-03**刑務所の薬物依存離脱指導における心理プロセス類型と再犯リスク
ー潜在プロファイル分析による検討ー**

森田 展彰¹⁾、受田 恵理²⁾、周布 恭子²⁾、大谷 保和¹⁾

¹⁾ 筑波大学医学医療系 ²⁾ 美祿社会復帰促進センター 小学館集英社プロダクション